

令和 2年度予算見積調書

課室名：消防防災課
 担当名：消防・調整担当
 内線：8151

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B15	若者を中心とした消防団加入促進PR事業費			一般会計	総務費	防災費	消防防災費	消防行政推進費	
事業期間	平成30年度～ 令和 2年度	根拠法令	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律第4条			宣言項目	03 大地震など危機への備えの強化		
					分野施策	020516 危機管理・防災体制の強化			
1 事業の概要			5 事業説明						
若者（大学生）が消防団活動に参加し、消防や地域防災に関心を持つことで、将来において地域防災の担い手となることが期待できることから、若者を中心とした（特に大学生に焦点を当てた）消防団加入促進PR等を重点的に行う。 (1) 広報強化事業 1,572千円 (2) 消防団応援プロジェクト事業 775千円			(1) 事業内容 大学生などの若者が消防団活動に参加し、消防や地域防災に関心を持つことで、将来において地域防災の担い手となることが期待できることから、若者を中心とした消防団加入促進PR等を重点的に行う。 ア 広報強化事業 1,572千円 イ 消防団応援プロジェクト事業 775千円 (2) 事業計画 ア 広報強化事業 消防団啓発広報の実施 ・消防団PRリーフレット及びPR啓発品を配布することにより消防団の啓発を図る ・学生消防団員研修会を開催し、育成と連携強化を図る ・35歳以下の若い消防団員の研修会及び交流会の実施 イ 消防団応援プロジェクト事業 消防団応援の店の拡充 ・消防団応援の店のサイト運営・維持管理 ・消防団応援宣言の店に係るチラシ等の郵送費 ・消防団の応援に係るマグネットステッカーの作成 (3) 事業効果 消防団への加入促進が図られ、また、自らの地域は自ら守るという意識の啓発により地域防災力が向上する。 県内学生消防団員数 平成31年度:237人(平成30年度:199人)→令和2年度末:348人 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 事業の実施に当たっては、(公財)埼玉県消防協会、各市町村、各消防団と連携し、職員のマンパワーを活用する。						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.8人=7,600千円									
予算額			財源内訳					一般財源	前年との 対比
決定額	2,347							2,347	△689
前年額	3,036							3,036	